

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク＝エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	IN-EAST		
報告書提出日	2019年4月21日		
留学予定期間	2019年4月～2019年9月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 600 (ユーロ) /合計

航空券代： 150,000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 100 (ユーロ) /合計

その他 ()： (通貨入力) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 1130 (ユーロ) /合計

1 月半ばに留学先の大学から入学許可書が届き航空券の予約及び寮の予約。

2 月の後半から 3 月の終わりにかけて寮の敷金や最初の一か月分の家賃の支払いを寮の管理会社とのメールのやり取りを通して行いました。ドイツでの学生 VISA の申請はドイツについてから行うので日本にいるうちに行ったことは以上です。VISA の申請には残高証明書が必要なため奨学金の証明書の他に閉鎖口座を作る必要があり私の場合は半年で 1130 ユーロ口座に入れておく必要がありました。閉鎖口座の申請はバディと行うのですが 3 週間ほどかかりました。

1.2. 渡航について

成田空港から直行便でデュセルドルフ空港に向かいました。現地では学生が迎えに来てくれました。移動手段は電車で寮の最寄駅まで約 15 分、そこから寮まで徒歩で 15 分でした。空港から寮までの乗車賃は約 5 ユーロほどでした。大学でゼメスターチケットを発行してからは大学のあるノルトラインヴァーレン州内は特急列車以外の電車やバスは無料で乗ることができました。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

寮への申し込みは留学先大学とは別の管理会社から自分で申し込みます。申し込み後は何度か直接メールでやり取りをします。日本にいるうちにパスポートのコピーや大学への入学許可書のデータを管理会社のほうに送りました。さらにそこから 1 か月分の家賃と敷金の支払い、管理会社から送られてくる契

約書のデータをプリントアウトしそれにサインし国際郵送することで寮の予約が確定します。今後の支払いは1か月おきに320ユーロをドイツで作る銀行口座から引き落とされます。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

滞在許可については現在申請中です。まずドイツ到着後1週間ほどで外国人局のほうに行きVISAを申請します。この際にはパスポート、入学許可書、寮の契約書、奨学金の証明書などが必要になりました。更に閉鎖口座を作る必要があったのですがこの時には作れておらず後日、また外国人局のほうに行きます。バディがこれに同行してくれるのですがバディの授業の都合もあり日程の調整が必要です。閉鎖口座を作る際にも銀行側から日程を指定されることがあるので大学の授業を休む必要も出てくると思われます。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

オリエンテーションは特にありません。

4/5 学生登録

4/8 プレイスメントテスト 結果は即日発表

4/8～4/12 言語科目の履修登録

4/8～4/19 言語以外の科目の履修登録

4/15 授業開始

履修登録・学生登録はバディが手伝ってくれました。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国までにドイツ語能力 B2 を目指し苦手なリスニングに力を入れ学習していく。特に現地の学生と交流する機会を多くとる。英語に関してもスピーキング能力を高めるために積極的に自分から話す機会を多くとるようにする。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

実際に使われている表現を学ぶために、英語やドイツ語の動画を見ていた。スピーキングの機会が日本にいたときには極端に少なかったので留学してからは少し苦勞している。ドイツ語の語彙に関しても日本にいる際により多くしておくべきだったと後悔している。現地の学生と多く話す機会は多くあるのでより多く吸収したいと思う。

3.3. 今月の学習・研修目標

日本語を学びたい現地の学生とお互いの言語を教えあう活動をしているためこれからも続けていきたい。ドイツではタンデムという言語学習の方法がありこれは日本語を学習している現地の学生と母国語を教えあうという方法であり、わたしにとってとても有益なものであった。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Einführung in die Grundlagen(10:00-12:00)
火	The Political System of Japan(11:00-14:00)
水	English (10:00-14:00)
木	
金	Deutsch(8:30-12:00)
土	
日	

4.2. 授業について

第 1 週の授業は本格的には始まっておらずすべての授業において今後の日程や教科書についての説明が主である。言語のクラスではうまく登録できていない生徒もおり注意が必要であると感じた。英語やドイツ語のみの授業もあるがパワーポイントなどもあるので何とか理解できている。進度に関しては特に早いとは感じない。言語クラスではペアワークが多くあり英語やドイツ語を話す機会は多くある。ドイツ語の授業では一つ一つの文法に対し多く時間をとるので理解にはあまり困らない。

4.3. 予習・復習・自習について

Einführung in die Grundlagen と The Political System of Japan の授業に関しては特に予習復習は指定されていないがその日の資料など読み返している。
英語とドイツ語の授業では教科書の範囲で課題が毎授業提示される。特に多い量ではないがわからない部分などは現地の学生に教えてもらいながら進めている。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
トイレ・シャワー・キッチンが共同です。 ドイツ国内では wi-fi を使わないと電波が弱い地域が多いです。スーパーは早く閉まってしまうところが多く気を付けないといけません。	

5.2. 課外活動について

休日は電車やバスを使い観光をしています。現地の学生が開くパーティーに参加したりなどしています。ドイツでは日曜日や祝日はお店がほとんど開いていないので前日に買い物を済ませ寮のキッチンで料理をしたり近くの公園でスポーツをしたりしています。

5.3. 現在までの感想

現地の学生との出会いはもちろん日本の学生との出会いもとても刺激になります。日本の生活とは勝手の違う部分が多くありますが、周りの人の助けもあり特に問題なく過ごせています。買い物の仕方やバ

スの乗り方など最初のうちはわからないことが多く苦労しましたが慣れると自分ひとりでも苦労なく生活できています。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（6月）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク＝エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	IN-EAST		
報告書提出日	2019年6月15日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

帰国後に TOEIC のテストにおいて 750 以上のスコアの獲得を目指す。特にリスニングのスコアを伸ばせるよう聞き取る力をつけるためネイティブとの会話を大切にする。ドイツ語に関しては、A1、A2 レベルの語彙や文法の取得と定着を目指し復習を繰り返す。他の国からの留学生とも交流し多くの文化に触れ視野を広げたいと思う。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

英語のリスニング能力について徐々に聞き取れるようになってきていると感じている。日本では触れてこなかった独特の言い回しにも慣れてきて内容の理解も時間がかからないようになってきた。自ら発言する機会はあまり多く取れなかったので残りの留学期間中に発言する機会を多く取りたいと思う。ドイツ語に関しては、覚えた単語が増えてきたのでそれを会話の中で使えるよう意識していく生活していく。

1.3. 今月の学習・研修目標

国によって英語の発音やアクセントに癖があることがあり聞き取ることが難しいことがあるのでその癖に慣れることとスピーキング能力をあげるために積極的に会話に参加し自分の意見を表現することを今月の目標とする。ドイツ語に関しては単語を覚えているだけでなく使える単語に量を増やしていく。

2. 学修について

2.1. 授業について

ドイツ語の授業ではより複雑な文法を扱うようになってきている。授業中に出てくる単語の量も増えていくので授業の復習はその都度欠かせない。ペアワーク、グループワークが多くあるのでドイツ語話す機会は多くある。複雑な文法について学習する際には英語で説明があるので理解することができる。英語の授業で扱う文法はすでに学習しているものが多くあまり難しくはないが、慣れない言い回しが教科書に載っていることがあるので確認が必要である。どの授業でも学生が積極的に発言、参加しているので

圧倒されないよう自分も発言することをこころがけている。日本の政治の授業では学生のプレゼンテーションが行われた。他の国からみた日本の意見を聞ける機会だったのでとても興味深いものだった。

2.2. 予習・復習・自習について

上で書いたように、ドイツ語の授業では扱う単語が増えてきているので教科書の予習復習は毎授業ごとに行っている。課題なども常にできるのでドイツ人の学生に手伝ってもらいながら行っています。自習ではドイツ人とのタンデムを学期の初めから続けておりそれぞれの母語を教えあっている。この学習は1対1で行うことが普通でありドイツ語、英語のアウトプットの機会としてとても貴重な活動である。一人で勉強する際には語彙を中心に学習し、タンデム学習の際には文法や表現を中心に学んでいる。理解できないことは詳しく聞いたり、表現の細かい違いに対して教えてもらうことができるのでとても身になっている。

2.3. 語学力について

英語、ドイツ語ともにリスニング、スピーキングともに課題だと思っている。前回からは徐々に聞き取れるようになってきているがまだ課題だと感じている。ドイツ語の単語量が増えてきており読み取る力はついてきていると思う。英語は話す機会は多くあるが複雑な内容を表現したいときには時間がかかってしまったり正確に表現できないことがあるので覚えているだけでなく自分使える語彙の量を増やしていきたい。同じ言い回しばかりになってしまうことがあるので表現の幅を広げることを目標に学習していく。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
----	-----------------------

ドイツに渡航してきた時期と比べ徐々に気温が上がってきており、さらにドイツの寮にはエアコンがなく夜は寝苦しい日が増えてきている。ドイツの天候は変わりやすく通り雨に見舞われることが多くあるので折り畳み傘の携帯が欠かせない。ドイツの食料品に関してはあまり高いとは感じないが調味料が日本と違うため最初のうちは自炊は大変だった。寮の近くには、スーパーマーケットやデパートもあるので生活するにあたってとても便利である。

3.2. 課外活動について

休日にはゼメスターチケットで行ける範囲で旅行や観光をしている。他には、ドイツ人の学生に紹介してもらった施設でトランポリンやボルダリングなど行っている。日曜日にはドイツ国内では営業していないお店が多くあるのでオランダに旅行したり公園を訪れたりしている。

3.3. 現在までの感想

ここまで約2か月経過したがとても早く感じる。ドイツ国内でもほとんどのところで英語使う場面が多くある。ビザの申請や銀行口座の開口などドイツに到着してから行わなければならない手続きが多くあり最初の1、2か月は忙しい日々が続いた。ドイツ語でメールのやりとりをすることも多くありわからない内容はバディ聞くことが多いのでバディとの関係は重要であると感じる。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学科	国際文化交流学科	3	年次
派遣先大学 (国)	デュースブルク＝エッセン大学 (ドイツ)				
所属プログラム・ 学部・研究科	IN EAST	履修言語	英語・ドイツ語		
留学期間	2019年4月～2019年8月				
報告書提出日	2019年9月17日				

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Sommer Semester	4月3日 ～7月10日 (15週)	7月12日 ～8月15日	まずドイツ語のレベルを測るためにプレイスメントテストが行われその結果でドイツ語のクラス分けが行われる。ドイツ語のクラスは必修だが英語のクラスは違うためオンライン上で別にプレイスメントテストを受ける必要がある。履修はすべて大学のサイトで行うことができシラバスなどもオンライン上で見ることができる。履修期間は1週間ほどあり語学コースはこの期間授業はなかった。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み
Sommer Semester	OA2-1Introduction to the Foundations and Developments of the Countries of East Asia	28時間 2(時間/回) ×1(回/週) ×14(週)	講義が月曜日に120分。授業は主にドイツ語で行われる。内容としては日本を含めた東アジアの発展を学習した。授業は聴講形式でパワーポイントなど使い進め学生から質問があればその都度答えるという形だった。テスト留学生だったため免除していただき聴講のみの授業への参加を許可していただいた。

Sommer Semester	The Political System of Japan	42 時間	この授業はゼミナール形式で行われ火曜日に 180 分。授業内容は日本の政治について。日本の選挙活動や政治システムについて話し合う。授業の前に参考資料が大学のポータルサイトにあげられるため事前に読み込んでから授業に向かっていた。中間試験や期末試験などは特になかったが中間と期末に日本の選挙に関するレポートが課せられた。
		3(時間/回) ×1(回/週) ×14(週)	
Sommer Semester	German A2	40.5 時間	基本的には金曜日に 210 分、祝日などが金曜日に重なる際には違う曜日に補講があることもあった。授業内容は主に教科書に沿って進み、各授業で取り扱ったセクションのまとめの部分が毎回課題とされた。授業は休憩をはさみ前後半に分かれており前半は文法事項の説明、後半部分はそれを使った会話が中心。
		3.5(時間/回) ×1(回/週) ×13(週)	
Sommer Semester	English A1/A2	56 時間	水曜日に 240 分、上記のドイツ語の授業と同じく祝日などが重なった場合は違う曜日に補講が開かれた。授業内容は教科書に沿って進みその回で取り扱うセクションの問題を授業内で解き解説する。そのセクションのまとめが課題として毎回出される。毎回ではないがライティングの課題が宿題として課されることもあった。中間試験、期末試験の対策としては教科書の復習や授業で取り扱ったライティングの課題の見直しを行った。
		4(時間/回) ×1(回/週) ×14(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

授業で理解できないことや質問がある場合は出来るだけその授業内で解決できるようにすること、間違いを恐れず授業内で多く発言することを心掛けていた。語学の授業では、復習ではわからなかった単語を調べたり初見の表現や文法が出てきた際にはそれらの定着。予習では前の授業で指定された課題を行ったり次回の授業で行う教科書の範囲を読んだりしていた。語学以外の授業では、日本人としての意見を求められることも多々あったので授業内で取り扱う話題について事前に知識を得ておいたり自分の意見を大まかにまとめておくなどしていた。

1.4. 語学力について

留学中の取り組みで最も自分の身になったと感じるのは現地の学生との授業外での言語学習である。自分の場合は週 8 時間ほど行っておりこの活動のおかげで留学期間内に英語やドイツ語に触れる機会を多く得ることができたと思っている。留学前に課題に感じていたリスニングやスピーキングの能力はこの活動や寮内、外出時など日常生活の中の会話で成長したと感じている。授業内のレポート課題や予習で読む文献でライティングとリーディングの技能は成長したと感じる。特にスピーキングとリスニングは日本ではあまり使用する機会がなかったため、この留学で大きく伸ばすことができた力だと自負している。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

言語の授業は基本1コマ4時間単位で行われ前半部分は文法事項や表現の説明、後半部分は演習が行われた。演習の中ではグループ学習や会話が中心だったため英語で話す機会を多く得ることができた。この留学の期間で話すことと聞くことの技能の成長を強く感じる。授業外の活動ではタンデムというお互いの母語を教えあう活動がとても身になった。授業で質問することができなかったことや文法に関する事柄を細かく聞くことができた。基本的に英語でやり取りするためこの活動のおかげで授業外でも英語話す機会が増えた。日本の政治を取り扱う授業はゼミナール形式だったため学生の意見を直接聞く機会が多くあった。そこでは日本人の選挙に向かう姿勢など日本の政治について学生との議論を通して考え直すとても貴重な機会になった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

デュースブルク＝エッセン大学の IN EAST では日本人はドイツ語のみ必修であるためそれ以外は自由に履修を組むことができる。自習の時間を多く確保できたことは良かったが、シラバスをもっと読み他の授業も履修するべきだったと後悔している。留学志望者には現地の学生などに相談しながら授業内容を確認して自分の取りたい授業を探し履修してほしいと思う。授業内で多く発言することを心掛けていたが留学当初は周りの勢いに圧倒されあまり積極的に参加できなかった。留学半ばからは徐々に慣れ積極的に参加することができたが最初から失敗を気にせず発言するべきだったと思う。単語帳や文法解説書など日本語表記のものは現地で買うと高くなるので日本から持っていけるものはできるだけ持っていくことをお勧めする。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学生活内で様々な活動を行ったり場所を訪れることで未体験のものに挑戦する体力がついたと感じている。帰国後もこのことを生かし自分が経験したことがないことに挑戦していこうと思う。自分の性格はもともとあまり外向的な性格ではなかったがドイツで住んでいる人はオープンな性格な人が多くそれに影響され自分の性格も外向よりになった。留学中は寮生活でありキッチンやトイレは共同であり日本の普段の生活ではできない貴重な経験ができた。日本の生活とは勝手が違うことが多くさらに説明も主にドイツ語や英語で行われ細かいところまでわからないときも多くあった。そのため物事に対し能動的に動くようになり計画的に行動できるようになった。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

調味料や教材など日本から持っていけるものや日本でしか買えないものは予め調べ用意していくべきだったと感じている。自分は一学期(約5か月間)での留学だったが夏休みをまたがない期間だったのでとても短く感じた。基本的に休みは土日だけだったので一学期での留学を考えている学生は行きたい場所ややりたいことを事前にまとめておいたり興味のあることが見つかった時には迷わず行動に移してほしいと思う。留学中の食事は主に自炊だったのだが、日本で手に入る食材や調味料とは違ったため慣れるのに時間がかかった。生活用品特に洗剤などは種類も多く表示もわかりづらいものが多いので現地の方に相談しながら選ぶことをお勧めする。一方でドイツ国内では食材の物価は高くなく日本と変

わらないか日本よりも安いものもあるくらいであった。スーパーマーケットで買い物をする際には賞味期限が過ぎているものだったり腐っているものも稀にあり、気をつけて欲しい。自分は留学中英語で映画を見たり小説を読んだりする機会が少なかったのもっと多く文学作品に触れるべきだったと後悔している。

帰国の際の手続きだが、帰国1週間前にやることが多く自分の場合はバディもテスト期間などで忙しく一人で作業しなければならないことも多くあり最後の1週間はとても忙しくなってしまった。したがって、帰国準備に関することは事前にバディに聞くなどしてまとめておいたほうがよりスムーズに手続きが進むと思われる。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年9月10日

所 属	外国語学部 () 研究科	国際文化交流学科・専攻	3 年次
派遣先大学	デュースブルク＝エッセン大学		5 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(ルームメイト1名と風呂トイレ共用、キッチンが共用のものが居住階に一つ、広さは約6畳)
3	入居時手続き	(国際送金にて日本からデポジットを送金、現地についてからバディより鍵の受け渡し寮の説明を受ける。)
4	費用 (月額)	330 (€) (食費含まない/月)
5	支払方法	月ごとにドイツで作る銀行口座より引き落とし
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(近隣に大きいスーパーがあり駅までは徒歩 10 分程度)
9	アクセス	(大学までは徒歩で 15 分ほど)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(シャワーなどの排水は詰まりやすく、詰まった際には詰まりを解消する薬剤があるので購入し使用してください)
11	引越しされた方は引越し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入

3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(近隣のスーパーマーケットでSIMを購入)
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	330 (€) /月
2	食費	200 (€) /月
3	交通費	0 (€) /月
4	通信費	30 (€) /月
5	娯楽費	100 (€) /月
6	図書費	50 (€) /合計
7	学用品 (教科書など)	50 (€) /合計
8	被服費	50 (€) /合計
9	医療費	0 (€) /合計
10	雑費・その他	50 (€) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)。		
11	出願料・宿舍デポジット	600 (€) /合計
12	ビザ申請関連費	100 (€) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	100000 (円) /往復
14	その他	(通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	600000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 2万円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: 三菱UFJ) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	した
18	手続き方法・利点・欠点	滞在費用証明の際に必要なため開口、現地の銀行に行き直接開口
19	お金に関するアドバイス	

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19 (6か月分で 78356 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか？理由はなんですか？	

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	薬、服、学習用品、パソコン、コンタクト、歯ブラシ、歯磨き粉
2	現地で購入したもの
	服、洗剤、洗面用具、枕、クッション、変換プラグ
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの

VI. 留学先で困ったこと

VII. その他、後続の学生へのアドバイス